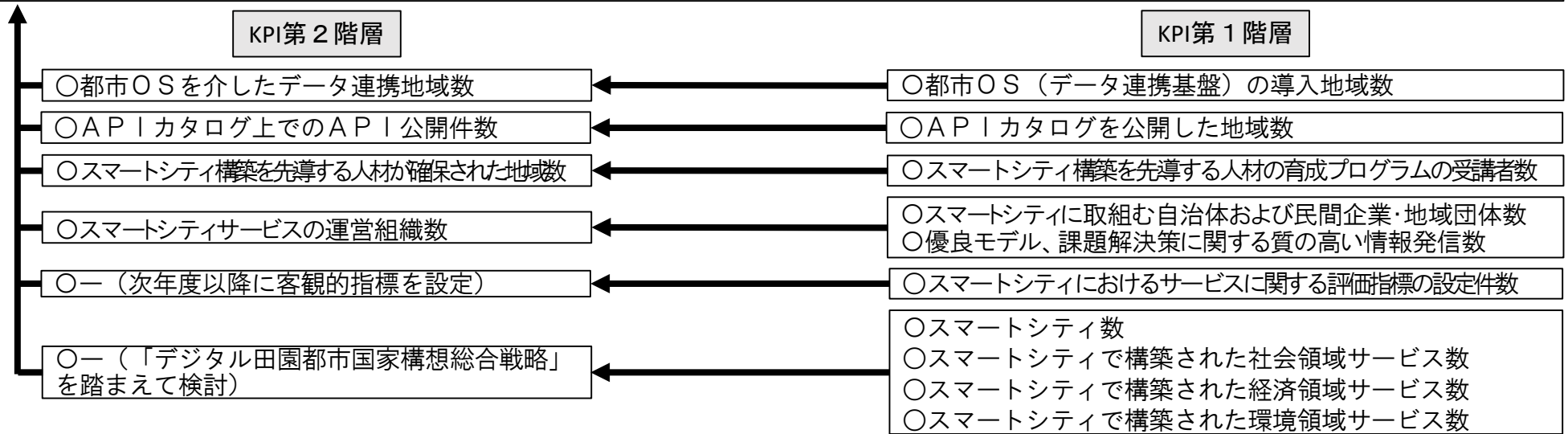


【社会資本整備等：新しい時代に対応したまちづくり、地域づくり】

1. 政策体系の概要

政策目標：新しい時代に対応したまちづくりを促進するためには、デジタルの力を活用した地域づくりとコンパクト・プラス・ネットワークの推進に向けた政策手段の強化を一体となって進める必要がある。このため、デジタル田園都市国家構想の一翼を担うスマートシティの推進や不動産ID等の総合的な活用など、デジタルの力により地域課題に取り組むための基盤整備を進める。

①社会のDX化による地域サービス等の進展や新技術活用による新たな価値創出に資する基盤を構築するとともに、都市マネジメント高度化等による社会課題解決を目指す取組への民間企業・市民の参画状況を向上させる。このため、デジタル基盤、運営体制、人材等のスマートシティ推進の基盤整備を図るとともに、質的な効果に着目した活動・サービス推進を通じ、住民満足度の向上、産業の活性化、グリーン化の実現など社会的価値・経済的価値、環境的価値等を高める多様で持続可能な都市が各地で形成され、国内外に紹介できる優良事例を創出する。



2. 狙い

- 1) スマートシティの地域での取組の現状・水準を把握
- 2) 取組推進に向けた国の施策の状況を把握
- 3) 地域・国における取組成果の効果的な評価方法について継続的に検討・充実を図る

3. 具体的な検証項目

担当府省	対象施策	工程表の箇所	確認するエビデンス等	予定	必要なデータ例
4 内閣府 (CSTI)	スマートシティ	社資 10 (p73-75)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティの構築による社会的価値、経済的価値、環境的価値への影響（どのような効果が発現するか）及びスマートシティの活動状況等との関係 ・KPI設定指針の活用事例 	R5～：関係事業でKPI設定指針を活用。先進事例をガイドブックの改訂等により横展開。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会（教育、健康）、経済（雇用、買物）、環境（移動、防災）などの指標設定事例等 ・自治体、民間の取組（内容・水準）、人材育成等の活動の情報等 ・自治体での評価指標の設定件数 100

【社会資本整備等：新しい時代に対応したまちづくり、地域づくり】

1. スマートシティ

これまでの進捗状況

(1) スマートシティの基盤整備

- データ連携、都市OSに関しては、都市OSの導入地域数が14件（R3.3）から52件（R5.3）※に増加。APIカタログを公開した地域数は14件（R5.3）、都市OSを介したデータ連携地域数は11件（R5.3）※であった。
- 推進体制に関しては、スマートシティに取り組む自治体数及び民間企業・地域団体数の数として、官民連携プラットフォームの会員・オブザーバー数が827件（R3.9）から936件（R5.3）となった。
- スマートシティガイドブックに掲載する先進事例の調査などは令和4年度に完了し、更新案を作成。公開に向けて有識者ならびに関係各省への確認と調整作業を実施中。

※都市OS（データ連携基盤）の導入地域数については、一つの都市OSに複数の市町村が接続する場合は、原則として1地域として計上。

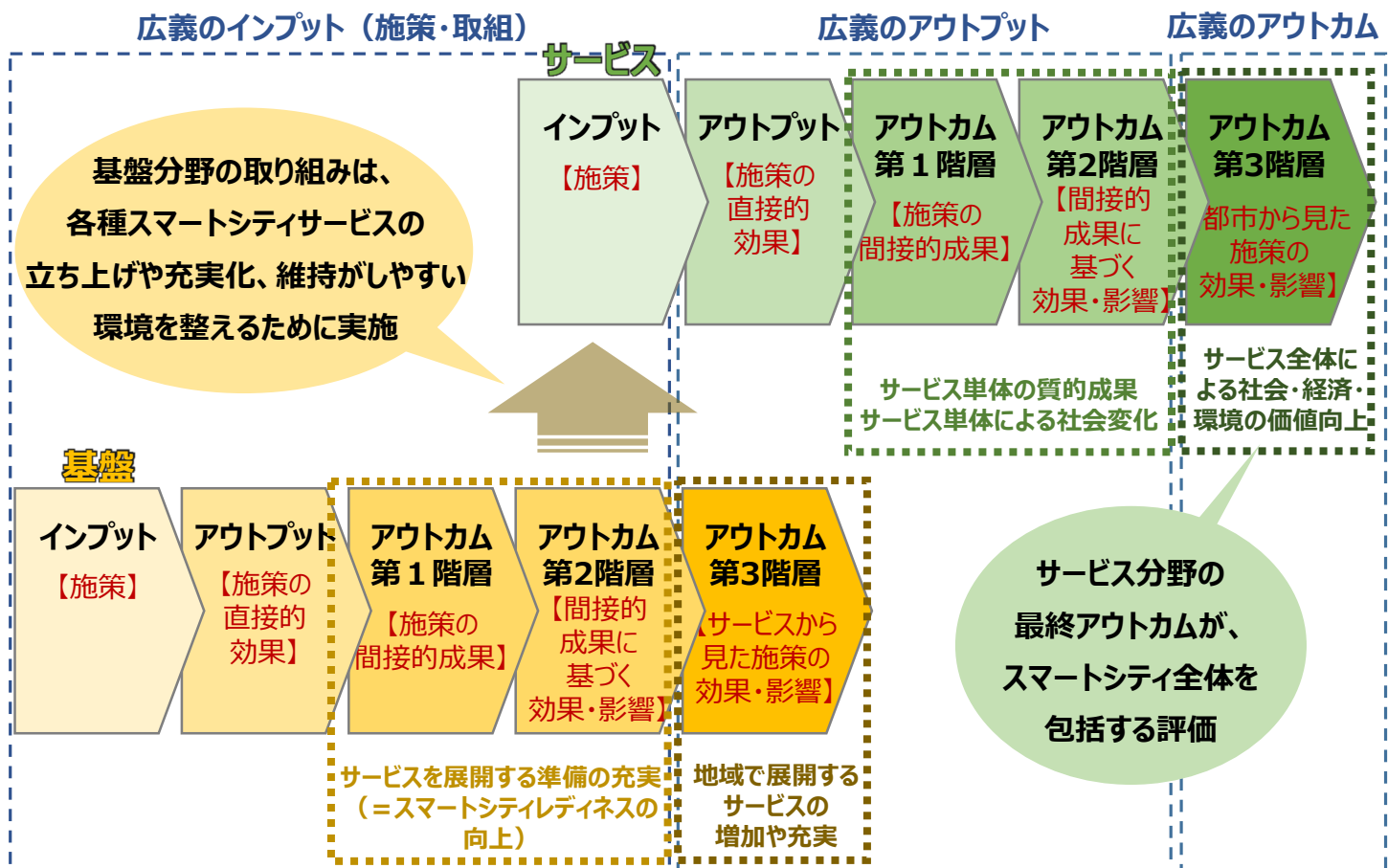
(2) スマートシティサービスの普及

- スマートシティ施策のKPI設定指針について、自治体でのワークショップなどを通じて、サービス等にかかる推奨指標の設定の充実化等を図り、今年度のスマートシティ関係事業の合同審査において、同KPI設定指針を対象事業のKPI設定の際に参照するよう示し、事業の公募を実施した。

スマートシティ施策のKPI設定指針（2022年4月公表、2023年4月改訂）

- スマートシティ施策のKPI設定指針は、地域（コンソーシアム等）の進める多様なスマートシティ関連施策に対する適切な評価の枠組み・評価指標を示し、これを通じて、各地で適切な施策評価および評価に基づいた施策改善を促進することを目的に策定されたもの。
- ロジックモデルを用いて論理的に施策の評価を行い、施策の評価にふさわしい評価指標・KPIの設定方法を整理し、また指針に基づいた評価指標・KPIを導入することで、他都市との比較や地域の独自性のバランスを客観的に見る構成となっている。

【ロジックモデルの全体像】※スマートシティレディネス：各種サービスの立ち上げや充実化、維持がしやすい環境の整っている程度を表す指標群



	評価分野	施策のテーマ例
サービス	モビリティ	交通／モビリティ、物流、交通拠点
	環境／エネルギー	環境、エネルギー、水資源、廃棄物
	防災／防犯	防災、防犯
	インフラ／施設	インフラ維持管理、都市計画・整備、施設マネジメント、住宅、建設、不動産
	健康／医療	健康、医療、介護
	産業／経済	農林水産業、観光・地域活性化、産業創出・産学連携、デジタル通貨・決済、働き方
	地域社会	地域コミュニティ形成、地域自治、社会活動
	教育／文化	教育、子育て、文化・アート
	行政	e-サービス、デジタル運営
	基盤	IT基盤
運営体制		公民学連携の推進、住民参画の推進、データガバナンス体制の構築、運営資金
人材		先導・運営人材、IT・スマートシティ人材

スマートシティ施策のKPI設定指針の改訂①（2023年4月公表）

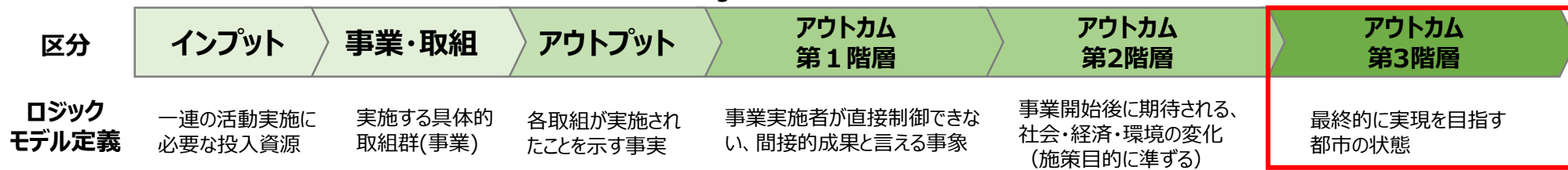
①推奨指標・選択指標の整理

・・・各階層の指標について、それぞれ推奨指標・選択指標の例示を増やすとともに、データ取得可能性等の観点から再整理。

指標の区分	指標の定義	サービス分野				基盤分野			
		アウトプット	アウトカム第1階層	アウトカム第2階層	アウトカム第3階層	アウトプット	アウトカム第1階層	アウトカム第2階層	アウトカム第3階層
推奨指標	全ての地域が取り入れることが望ましい評価指標	-	-	○	○	-	○	○	○
選択指標	評価指標の候補の中から地域が適切なものを選択するタイプの評価指標	-	-	○	-	-	-	-	-
任意指標	地域が、みずから自由に考案し設定する評価指標	○	○	○	○	○	○	○	○

②デジタル田園都市国家構想における地域幸福度（Well-being）指標との関係整理

・・・サービス分野のアウトカム第3階層に各都市のWell-beingに関連する指標を拡充し、両者の関係を整理。



③各指標の統計との紐付け

・・・推奨指標・選択指標として例示したものについて、e-Stat等の公開しているデータと紐づけできるものについては記載。



④KPI設定指針の支援ツールの開発

・・・ロジックモデルを作成しやすいようにPC上で作動するツールを開発。



一つ一つ入力していくのは作業量が膨大



クリック&入力で
ロジックモデルが作成可能に！

スマートシティ施策のKPI設定指針の改訂②（2023年4月公表）

⑤ ワークショップ事例集の作成

・・・本指針の活用にあたっての課題を把握するため、地方自治体・有識者が参加するワークショップにおいてロジックモデルの作成やKPIの設定を試行し、その成果を事例集として公表。

○ワークショップで作成したロジックモデルの例

柏市「AI技術を使ったフレイル予防の可能性検証」

●事業・施策の概要

フレイル予防AIによるデータ解析によって、健診結果等のビッグデータなど様々なデータを統合し、一人ひとりの事情を考慮した「個別メニュー」を提供するもの

ワークショップの感想：

アプリ導入後の話だけでなく、基盤整備の段階から整理されたのがよかった。今後もこのようなディスカッションを行いながら、頭の整理をしつつ何かうまくいかなかったときは、ロジックモデルをさかのぼりながら改善方法を考えるきっかけになればと思う。

